

たくましく心温かな中洲の子



- ◆ 令和4年 10月6日(木)
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

後期が始まりました



10月5日(水)より令和4年度後期が始まりました。期末休業を終え、めあてを新たに、後期の学校生活が始まりました。朝、各教室からは、音楽会に向けて練習する歌声や楽器の音が鳴り響いていました。



後期始業式「一生懸命生きる」校長の話より

1年生と6年生が育てている、かりんが見事に実っています。中洲小学校では、今日から後期が始まります。

さて、後期のスタートにあたり、私自身も今まで生きてきた中で大事にしてきた「一生懸命生きること」についてお話したいと思います。

生まれながら病気のために、車椅子で生活を送る12歳の少年のお話を紹介します。

少年は、いろいろな人の手を借りて生活してきました。自分ではできないことが山ほどあるからです。助けてもらわないと生きていくことができません。修学旅行に参加しても、ずっと友だちに車椅子を押してもらっている生活が、心苦しくて悩みます。「人にしてもらってばかりのぼくだから、何か人のためになるようなことがしたい。」でも、自分のことでさえ不自由な少年は、その夢が実現できそうにない今の状態によりいっそう悩んでいきます。悔しいとさえ思っていました。

それでも、「何とか人のために役立ちたい」とできることを探し、自分の力でチャレンジしようと一生懸命生きる姿は、周りの人たちに感動を与えていきました。ある日、少年のところに手紙がとどきました。少年の姿を街で見かけた中学生からでした。「私は、毎日がつまらなくて、何のために生きているのかな。と考えるようになっていました。そんなとき、あなたが、街の中で車椅子を動かしながら、一生懸命買い物をしている姿を見かけました。体が動くのに、そのことをあたりまえとしか思えない自分が情けなく、恥ずかしく思えてきました。何かできることをやってみようという希望をもらいました。ありがとうございました。」

少年はそれを読んで生き生きと語りました。「ぼくにはやっぱり人のために役立つというような大きなことはできそうにない。でも、ぼくのような不自由な体だからこそ、こうしてぼくが一生懸命生きていくだけで、いろいろな人に希望と勇気をあげることができると思いました。だから、ぼくは、ぼくの力の限り一生懸命生きていくことにします。」

「一生懸命」とは、自分の一生をかけてがんばるという意味があります。しかし、もともとは「何事も一つのことに集中してがんばれば、どんなことだってできる。」という意味でした。「一生懸命」取り組む姿は本当に美しい。「一生懸命」取り組む姿は人の心を打つ。私は少年の「一生懸命」な姿に釘付けになり、思わず自分を振り返りました。

私は「一生懸命」生きているだろうか。少なくとも、今日の一日は「一生懸命」だっただろうか。体が自由に動くのに、やりたいことは自分の力でできるのに、「めんどくさいなあ」とか「つかれたなあ」などと思ってしまうことがあることを、申し訳なく感じました。みなさんはどうですか。

4月から、一生懸命取り組む姿をたくさん見せてもらいました。毎日の学習、清掃、児童会活動、運動会など・・・様々な一生懸命の姿が思い起こされます。そのたびに、大きな感動をもらってきました。



6年生の育てた花壇

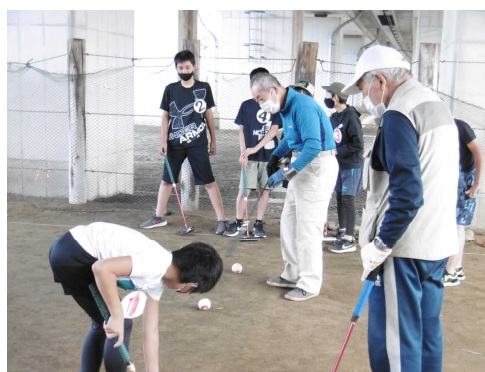
た。生きる勇気をもらってきました。

さあ、一日が終わるとき、今日の自分は一生懸命だったかなあと振り返ってみてください。それを繰り返していくことで、自分の生活が幸せになっていくはずですよ。

後期が終わる3月に、「このことだけは一生懸命できた。」と胸をはって言えるよう、努力していきましょう。一人ではありません。一緒にがんばる友だちがそばにいます。「よく考え、なかまと共にふみ出す一歩」に、一生懸命挑戦してみましょう。

クラブ活動 楽しかったね

「あ～あ、悲しいな。何より好きだったクラブ活動が終わってしまった。」9月の終わりに最終日を迎えたクラブ活動が終了した後、校長室によって話をしてくれた子の一言です。気持ちはとてもよくわかります。自分が本当にやりたい活動を、同じ目的をもった仲間と一緒に、とことんやることのできるのです。これ以上充実した時間はありません。どの教室をのぞいても、うれしそうな笑顔であふれていました。ゲートボールクラブや華道クラブのように、地域のプロから学べるクラブもありました。どの講師のみなさまも、「子どもと活動できて本当にうれしい。生きがいです。」と話してくださいました。ありがとうございました。



通学路点検がありました



9月29日(木)に諏訪市の通学路合同点検が行われました。当日は、点検箇所副区长さん、コミュニティスクール安全教育部会正副部長さん、PTA支部長さん、市、県、警察、学校職員(教頭)が集まり、各地区から要望が上がった場所の点検を実際に現地を確認しながら安全を守るためにどうしたらよいかを検討していきました。たくさんの方が子ども達の安全を考えてくださっています。地域、家庭と連携しながら引き続き安全

指導を推進して参りたいと思いますので、ご家庭でも登下校はじめお子さんの交通安全について、繰り返しご指導をお願いします。

中洲クラブ 「さつまいもほり」

楽しみにしていた9月23日の稲刈りは、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら児童の参加を見合わせました。結局、雨天のため、平日の29日に5年生の稲刈りのお手伝いの後、少ない人数のスタッフさんだけで、進めていただきました。本当にありがとうございました。10月1日のさつまいもほりもスタッフさんのみで行いました。大変残念でしたが、大きなさつまいもがどっさり収穫できました。給食で全校がいただくことができます。講師の後町さん、スタッフのみなさま、ありがとうございました。

